

産業技術総合研究所 平成 27 年度 研究評価委員会（材料・化学領域）
議事要旨

1. 日時：平成 28 年 2 月 3 日（水）10:30～17:30

2. 場所：産業技術総合研究所 つくばセンター 中央第 5 事業所 第 3～4 会議室

3. 議事

- (1) 開会挨拶
- (2) 委員紹介・資料説明
- (3) 領域による説明（質疑含む）（議事進行：平尾 一之 評価委員長）
- (4) 総合討論・評価委員討議・講評（議事進行：平尾 一之 評価委員長）
- (5) 閉会挨拶

4. 議事概要

(1) 材料・化学領域の説明と質疑応答

資料 4～6 の説明資料に基づき、「1. 領域の概要」、「2. 「橋渡し」のための研究開発」、「3. 「橋渡し」のための関連業務」について説明が行われ、評価委員による質疑応答が行われた。「1. 領域の概要」に関しては、2 つの項目「(1) 領域全体の概要・戦略」、「(2) 研究開発の概要」について説明が行われ、「(1) 領域全体の概要・戦略」では、材料化学領域のビジョン、研究戦略、研究項目とアウトカム、材料・化学領域の戦略課題、TRL を用いた戦略課題の PDCA サイクルについての質疑が行われた。「(2) 研究開発の概要」では、研究項目①グリーンサステナブルケミストリーの推進、②化学プロセスイノベーションの推進、③ナノカーボンをはじめとするナノ材料の開発とその応用技術の開発、④新たなものづくり技術を牽引する無機機能材料の開発、⑤省エネルギー社会構築に貢献する先進構造材料と部材の開発についての質疑が行われた。「2. 「橋渡し」のための研究開発」に関しては、3 つの項目「(1) 「橋渡し」につながる基礎研究（目的基礎研究）」、「(2) 「橋渡し」研究前期における研究開発」、「(3) 「橋渡し」研究後期における研究開発」について説明が行われ、「(1) 「橋渡し」につながる基礎研究（目的基礎研究）」では、研究項目①、研究項目③、研究項目④、研究項目⑤から抜粋された研究及び評価項目の達成度について質疑が行われた。「(2) 「橋渡し」研究前期における研究開発」では、研究項目①、研究項目②、研究項目④から抜粋された研究及び評価項目の達成度について質疑が行われた。「(3) 「橋渡し」研究後期における研究開発」では、研究項目②、研究項目③、研究項目④から抜粋された研究及び評価項目の達成度について質疑が行われた。「3. 「橋渡し」のための関連業務」に関しては、4 つの項目、技術的ポテンシャルを活かし

た指導助言等の実施、マーケティング力の強化、大学や他の研究機関との連携強化、研究人材の拡充、流動化、育成について質疑が行われた。

(2) 総合討論

材料・化学領域の説明全般について総合討論が行われた。

(3) 評価委員討議

今回の評価に関して、評価委員による討議が行われた。

(4) 講評

評価委員長はじめ評価委員より材料・化学領域に対する講評が行われた。

5. 評価委員（敬称略、順不同）

平尾 一之 京都大学 大学院工学研究科 材料化学専攻 無機構造化学分野 教授
(評価委員長)

安藤 元英 株式会社 日産アーク デバイス機能解析 技術コーディネーター

大江田 憲治 株式会社 住化技術情報センター 取締役

渋江 和久 株式会社 UACJ 取締役 常務執行役員／技術開発研究所長

鷹野 景子 お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 教授／系長

長瀬 公一 東レ株式会社 研究・開発企画部 主席部員

6. 配布資料

資料 1 : 議事次第

資料 2 : 出席予定者

資料 3 : 座席表

資料 4 : 評価資料（その 1）主要な経年データ

資料 5 : 評価資料（その 2）主な業務実績等

資料 6 : 評価資料（その 3）説明資料

別添資料 1 : 平成 27 年度計画（抜粋）

別添資料 2 : 評価項目及び評価方法

別添資料 3 : 産総研評価情報システム利用ガイド（評価委員のみ）

別添資料 4 : 評価コメント記入用紙（評価委員のみ）